

中学部 生活単元学習 学習指導案

日時 令和6年8月27日（火）10：30～11：20

場所 中学部1年生教室

対象 中学部1年生6名

指導者 T1 徳一暁之、T2 船津直子、T3 奥野梨奈

1. 単元名「中1工房でみんなのために製品をつくろう！」

2. 単元について

生徒観

本学級には6名の生徒が在籍している。学校生活の中ではそれぞれが自分の方法でクラスメイトとかかわろうとする姿が見られる。お互いを思いやりながら穏やかに過ごすことができる。日常生活では、一斉指導における口頭指示で、指示内容を理解して取り組むことができる生徒もいるが、個別のスケジュールや手順書を活用している生徒もいる。一斉指導であっても視覚的に示す方が有効な生徒が多い。

また、友達関係は良好であるものの、生徒のコミュニケーションの実態は、基礎的な伝達能力や相手の意図を汲むことなどそれぞれに困難さがあり支援が必要である。

本単元につながる学習経験としては、6月の校内作業実習前後に「自立した大人を目指そう」とめあてを立てて掃除などに取り組んでいる。ほとんどの生徒が学習に積極的に取り組むことができた。

単元観

本単元は、中1工房でみんなのために役立つ製品を作って届ける活動を通して、生徒が自分の役割を果たしたりクラスメイトと協力したりしながら活動に取り組み、できあがった製品を周囲の人やお世話になった人にお届けする喜びや楽しみを感じることをねらった単元である。人の役に立つことの喜びを味わい仕事の大切さに気付くとともに、生徒の自己肯定感を高めることができるような学習としたい。また、製品の製作途中に話し合い活動を設け、クラスメイトと意見を出し合いより良いものを作る経験を通して、友達と協力する良さに気付き、共に働こうとする態度を育んでいきたい。

指導内容としては、職業・家庭（職業分野）の「働くことの意義」、国語科の「聞くこと・話すこと」を中心として扱う。まず、1次では単元の導入として主に中1工房のチラシや看板作りに取り組む。2次では製品をプレゼントする相手決めや、ニーズを把握するためのアンケートを作成し、実施する。3次では製品の試作を行い、試作品について意見交換をしながら改善するところを見つけ、製作に取り組む。4次では、製作した製品を納品し、自分たちの頑張りの振り返りを行う。

指導観

導入では学習の見通しをもつことができるようにするとともに、導入としてチラシや看板を作りこれからの学習への期待感を高め、意欲をもって単元全体の活動に取り組むことがで

きるようにしたい。アンケートでは、普段お世話になっている人やかかわりのある物事を生徒と確認し、どのような製品を作ればよいか考えることができるようにしたい。また、製作の場面や製品の工夫の話し合いで相手に気持ちを伝えたり、自分の意見を発表したりできるように手立てを準備することで、コミュニケーションを自然と行うことができるようにしたい。製品の製作では一人一人が様々な素材から自分に合ったものを選んで楽しみながら取り組むことができるように準備を行いたい。製作の中では、試行錯誤しながらより良い製品を製作することができるように、また素材の面白さを味わう実態の生徒も楽しめるように、色々な種類の材料を用意する。クラスメイトや教師とやりとりしながら製作に取り組むことができるように、材料や道具の数は意図的に減らし、共有して使うようにしたい。その際、楽しい雰囲気で行活動できるように、感謝の言葉やクラスメイトを思いやる行動を称賛する。試作後は、アンケートをもとに製品の評価や工夫について話し合う時間を設ける。自分の伝えたいことを考えたり、伝えたいことを選択したりできやすいように、製品の評価の視点を実態に合わせたチェックシートなどで示す。振り返りの活動としては製品の納品を行い、相手からの評価をもらうことができるようにし、自分や友達の頑張りやよかった点などを視覚的に振り返る時間を設定する。それらをもとに、満足感や自己肯定感を持つことができるようにしたい。

3. 単元の目標（各教科等、ア、イ、ウ）

- アンケート作成や製品改善のための話し合い活動で発表したり、話を聞いたりすることができる。（国語科、ア）
- 自分の意見を相手に伝えたり、クラスメイトの話を興味や関心をもって聞き、話の内容をだいたい理解し、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（国語科、イ）
- 意欲をもってクラスメイトとかかわったり、意見を伝えることを楽しんだりすることができる。（国語科、ウ）
- みんなに役立つための製品の製作を通して、働くことの大切さや目的を知ることができる。（職業・家庭科（職業分野）：以下職業分野と記載、ア）
- クラスで協力して道具を製作し、自己の役割に気づき、製品をより良いものにするために工夫することができる。（職業分野、イ）
- 進んで製作に取り組むことができる。（職業分野、ウ）

ア知識及び技能 イ思考力、判断力、表現力等 ウ学びに向かう力人間性等

4. 単元の評価規準（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

- 話し合い活動における話し方、聞き方が分かり適切な受け答えをしている。（国、中1段階、ア）
- 自分なりの伝え方を選択し、クラスメイトに向けて発表している。（国、小3段階、ア）
- 自分の思いを単語や動作で教師に伝えている。（国、小2段階、ア）

- クラスメイトの話を聞き、話の内容をだいたい理解し、自分の意見を広げたり深めたりする。(国、中1段階、イ)
- クラスメイトの話を聞き、話の内容をだいたい理解して、それに対して返事をしていく。(国、小3段階、イ)
- クラスメイトの話す様子に関心をもち、話を聞こうとしている。(国、小2段階、イ)
- 積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりしている。(国、小2～中1段階、ウ)
- みんなのために役立つ製品の製作を通して、働く大切さを知る(職、中1段階、ア)
- 相手からの謝意を期待して、クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んでいる。(生、小3段階、ア)
- 教師と一緒に製品の製作に進んで取り組んでいる。(生、小2段階、ア)
- クラスで協力して製品を製作したり、改善の方法を考えて、よりよい製品を作ろうと試行錯誤したりしている。(職、中1段階、イ)
- クラスで協力して製品を製作したり、材料や作り方を工夫して製作したりしている。(生、小3段階、イ)
- 材料等を自分で選んで、クラスメイトと一緒に製作に取り組んでいる。(生、小2段階、イ)
- よりよい製品づくりのために責任感をもって製作に取り組んでいる。(職、中1段階、ウ)
- 進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりしている。(生、小3段階、ウ)
- 楽しく製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりしている。(生、小2段階、ウ)

ア知識・技能 イ思考・判断・表現 ウ主体的に学習に取り組む態度

5. 単元の計画（全19時間）

次	時	日時	学習内容	指導内容
1	1～4	6/26 2、3、4校時	○オリエンテーション ○掃除の秘密道具の紹介、製作①	○自分の気持ちなどについて当てはまる言葉を探すこと、自分の意見など内容の大体が伝わるよう順序等を考えること【国聞くこと話すこと】 ○相手の話のおおよそを捉えて受け止めること、伝え合ったことを通して自分の考えや感想をもつこと【国聞くこと話すこと】 ○主体的に役割を果たそうとすること【生役割】 ○意見を述べたり聞いたりして
		7/2 2校時	○チラシ、看板作り ○掃除の秘密道具の紹介、製作②	
2	5、6	7/2 3、4校時	○アンケート計画・実施 ○製品作りの計画・役割分担	
	7、8	7/3 2、3校時	○アンケートまとめ	
3	9～12	7/2 4校時 7/9 2、3、4校時	○製品の製作① ○製品の製作② ○製品を改善・工夫しよう	

	13～15	7/10 2、3、4 校時	○製品の製作③ ○製品の納品準備	役割を果たすための知識や技能を身に付けること【社】 ○働くことに興味をもち、意欲や見通しをもって取り組むこと【職】
4	14～19	7/16 2～6 校時	○製品の仕上げ ○製品の納品	
			○ふり返り	

6. 単元の個人目標 （各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

生徒	個人目標		
A	国語科	①相手に応じて受け答えの仕方が違うことに気が付き、状況にあった言葉遣いを選択することができる。(中1ア)	
		②クラスメイトの話を聞き、話の内容をだいたい理解し、自分の意見を広げたり深めたりすることができる。(中1イ)	
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	
	職業・家庭科	①みんなのために役立つ製品の製作を通して、働くことの喜びや達成感を感じることができる。(中1ア)	
		②クラスで協力して製品を製作し、よりよい製品を作ろうと試行錯誤することができる。(中1イ)	
		③よりよい製品づくりのために主体性をもって製作に取り組むことができる。(中1ウ)	
B	国語科	①クラスメイトや先生など相手に応じた伝え方をすることができる。(中1ア)	
		②製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見をまとめたりすることで、グループ全体でより良い製品を作り出そうとすることができる。(中1イ)	
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	
	職業・家庭科	①クラスメイトと協力して製品を製作したり、自分が作ったものを受け取ってもらったりする経験を通して働くことのよさを感じることができる。(中1ア)	
		②クラスで協力して製品を製作し、よりよい製品を作ろうと試行錯誤することができる。(中1イ)	
		③よりよい製品づくりのために責任感をもって製作に取り組むことができる。(中1ウ)	
C	国語科	①状況にあった言葉遣いがあることに気が付き、実践することができる。(中1ア)	
		②相手の意図を考えながら、クラスメイトの発表を聞き、自分の意見や感想を述べることができる。(中1イ)	
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	

	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んだり、相手からの謝意に喜んだりすることができる。(小3ア)
		②クラスで協力して製品を製作し、よりよい製品を作ろうと試行錯誤することができる。(小3イ)
		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)
D	国語科	①自分なりの方法で発表したり、相手に意見を伝えようとしたりすることができる。(小3ア)
		②自分なりの方法で製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見を受け止めたりすることができる。(小3イ)
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(小3ウ)
	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組み、相手からの謝意に喜ぶことができる。(小3ア)
		②クラスで協力して製品を製作し、材料や作り方を工夫して製作することができる。(小3イ)
		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)
E	国語科	①自分なりの方法で発表したり、相手に意見を伝えようとしたりすることができる。(小3ア)
		②自分なりの方法で製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見を受け止めたりすることができる。(小3イ)
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(小3ウ)
	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んだり、相手からの謝意に喜んだりすることができる。(小3ア)
		②クラスで協力して製品を製作し、材料や作り方を工夫して製作することができる。(小3イ)
		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)
F	国語科	①自分の思いを単語や動作で教師に伝えることができる。(小2ア)
		②クラスメイトの話す様子に関心をもち、話を聞こうとすることができる。(小2イ)
		③積極的にクラスメイトとかかわり、教師に、自分の意見を伝えることができる。(小2ウ)
	生活科	①教師と一緒に製品の製作に進んで取り組むことができる。(小2ア)
		②材料等を自分で選んで、クラスメイトと一緒に製作に取り組むことができる。(小2イ)
		③楽しく製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小2ウ)

7. 本時の目標（各教科等、ア、イ、ウ）

○製品の工夫についての話し合いに参加し、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。(国、イ)

○話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫することができる。(職、イ)

8. 本時の評価規準（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

- 話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりしている。（国、中１段階、イ）
- 話し合い活動のなかで、相手の意見を聞こうとすることができる。（国、小３段階、イ）
- 話し合いに参加し、相手の意見を聞こうとしている。（国、小２段階、イ）
- 話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫して製作している。（職、中１段階、イ）
- 話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫している。（生、小３段階、イ）
- 自分なりに製品をよりよいものにしようとしている。（生、小２段階、イ）

9. 本時の個人目標（各教科等、学部段階、ア、イ、ウ）

生徒	個人目標
A	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。（国中１イ）
	②話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫することができる。（職中１イ）
B	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。（国中１イ）
	②話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫して製作することができる。（職中１イ）
C	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。（国中１イ）
	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。（生小３イ）
D	①話し合い活動のなかで、相手の意見を聞こうとすることができる。（国小３イ）
	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。（生小３イ）
E	①話し合い活動のなかで、相手の意見を聞こうとすることができる。（国小３イ）
	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。（生小３イ）
F	①話し合いに参加し、相手の意見を聞こうとすることができる。（国小２イ）
	②自分なりに製品をよりよいものにしようとするすることができる。（生小２イ）

10. 本時の展開

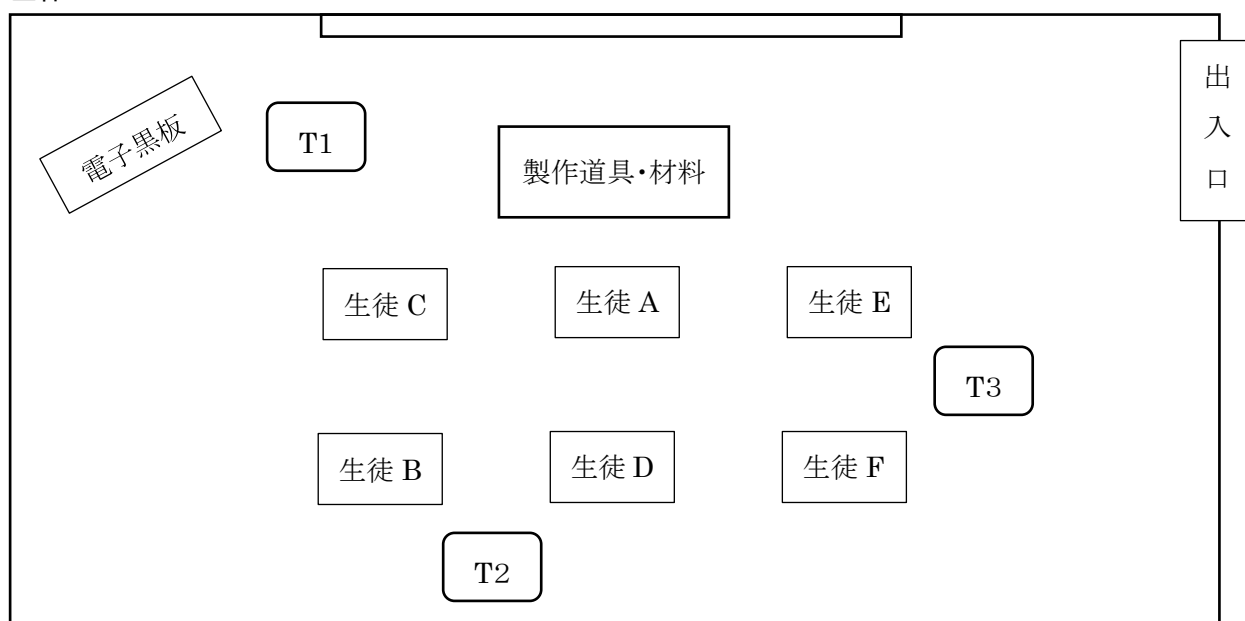
時間	活動内容	指導・支援
9:35	○はじめのあいさつ ○本時の流れを知り、めあてを確認する。	○姿勢を正して挨拶をするよう言葉かけを行う。 ○後輩や先輩、学校のために自分たちで製作を行うことを意識できるよう褒められたことなどを共有し、楽しい雰囲気的活動に参加できるようにする。

9:40	○製作したおもちゃを振り返る。 ①おもちゃで遊んでみる。 ②チェックシートを記入する。	○製作したおもちゃを使い、どんな風に遊べるか、数や手触りはどうかなど尋ねる。 ○製作したおもちゃを確認する視点を示す。 ・依頼の内容にあっているか ・プレゼント用にきれいに作っているか。 ・きれいに掃除できるか。
9:45	○クラスでおもちゃの感想や工夫について話し合う。 ・生徒3人＋教師1人グループで話し合う。	○発表の順番をWBに示し、教師がロールプレイを行う。 ○確認する視点に対してどうだったか問いかける。 ○意見を共有したり、コミュニケーションカードやVOCAを使い発表の準備をしたりする。 ○出た意見をまとめる。 ○意見を出すことが難しい場合は、これまでしてきたことにいいねを出すなど選択肢を提示する。 ○積極的に発言できる雰囲気をつくるため、発言に対して肯定していることが伝わる言葉かけをする。
10:20	○次の時間ですることを聞く。	
10:25	○終わりのあいさつ	○姿勢を正して挨拶をするよう言葉かけを行う。
	休憩	
10:30	○はじめのあいさつ	○姿勢を正して挨拶をするよう言葉かけを行う。
10:35	○本時の流れを知り、めあてを確認する。 ○クラスでおもちゃの感想や工夫について話し合う。	○2時間目に話し合った内容を共有し、後輩のためによりよい製品を作ることができるようにしたいことを伝え、楽しい雰囲気です活動に参加できるようにする。 ○確認する視点に対してどうだったか問いかける。 ○意見を共有したり、コミュニケーションカードやVOCAを準備したりする。 ○出た意見をホワイトボードに記入する。 ○意見を出すことが難しい場合は、これまでしてきたことにいいねカード、もっと聞きたいカードを出すなどの意見の表出の仕方を準備する。 ○積極的に発言できる雰囲気をつくるため、発言に対して肯定していることが伝わる言葉かけをする。 ○発表に対してどう反応したらよいか教師が手本を示しながら活動するようにする。

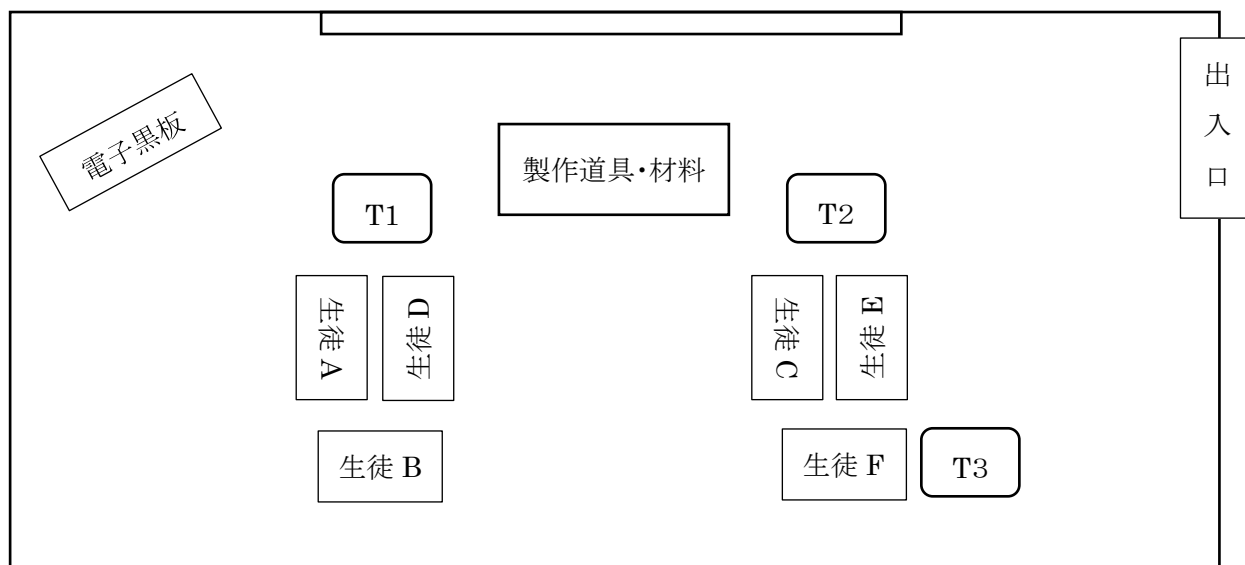
10:55	○製作を行う。	○製作の中で、必要な場合には教師がサポートややりとりの仲介を行う。 ○スムーズに製作できるよう、道具や材料を種類ごとに分けて準備しておく。 ○うまくいってない時は助言する。場合によっては手伝う。
11:20	○次時の見通しをもち、終わりのあいさつをする。	○姿勢を正して挨拶をするよう言葉かけを行う。

11. 場の設定

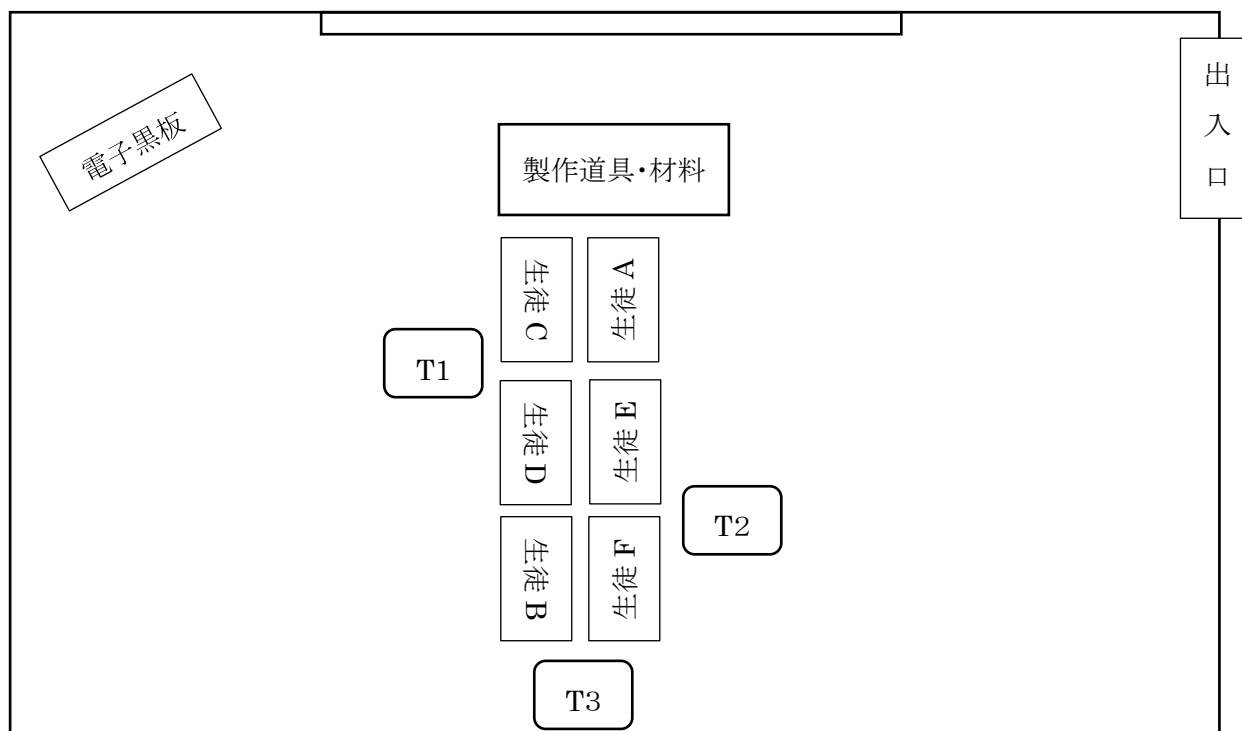
全体



グループでの話し合い・発表



製作



12. 本時の個人目標の評価

生徒	個人目標	評価	児童生徒の姿，次回に向けて
A	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。(国中1イ)	○	①話し合い活動の中でクラスメイトに質問を投げかけることができた。
	②話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫することができる。(職中1イ)	○	②話し合い活動を通して、他者の意見を取り入れて製品を改善する場面があった。
B	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。(国中1イ)	△	①話し合い活動の中で、クラスメイトの意見を受け止めることはできたが、質問を投げかけることができなかった。
	②話し合いを受けて製品をよりよいものにしようと工夫して製作することができる。(職中1イ)		②話し合い活動を通して、他者の意見を取り入れて製品を改善する場面があった。
C	①話し合い活動のなかで、自分なりの意見を伝えたり、クラスメイトの意見を聞いて自分の考えを広めたり、理解を深めたりすることができる。(国中1イ)	○	①話し合い活動の中でクラスメイトに自分から質問を投げかけることができた。

	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。(生小3イ)	○	②話し合い活動を通して出たアイデアを意識して製品を改善する場面があった。
D	①話し合い活動のなかで、相手の意見を聞こうとすることができる。(国小3イ)	○	①いいねカードの意味を理解し自分の製品に自信を持つことができた。
	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。(生小3イ)	○	②改善する部分を友達と協力して工夫しながら製作することができた。
B	①話し合い活動のなかで、相手の意見を聞こうとすることができる。(国小3イ)	○	①いいねカードを使いながら積極的に反応を返すことができていた。
	②製品をよりよいものにしようと工夫することができる。(生小3イ)	○	②好きな色などのアイデアを使いながらシールを貼り、製作活動に取り組むことができた。
F	①話し合いに参加し、相手の意見を聞こうとすることができる。(国小2イ)	○	①いいねカードなどを自分で選んで使うことができた。
	②自分なりに製品をよりよいものにしようとすることができる。(生小2イ)	○	②自分で好きな色を選びながら製作活動に取り組むことができた。

評価は○と△の2段階評価

13. 授業改善について

本単元では、一人一人が人の役に立つ喜びを感じつつ、製作活動に楽しく取り組むことができた。具体物を操作しながら考える活動を取り入れたり、考える視点となるようなチェックシートを用意したりしたことは、生徒が「自分の思いをもつ」ために役立てることができたと考えられる。少集団の中で話し合いの流れを確認したり発表練習を行ったりしたことで、学級全体でも自信をもって発表することができたが、生徒が自分の思いを伝えるには、生徒が安心感と自信をもつことができるということが大切であることを、再確認することができた。

14. 単元の個人目標の評価 (各教科等、学部段階、ア、イ、ウ)

生徒	個人目標	評価	児童生徒の姿、今後に向けて
A	国語科 ①相手に応じて受け答えの仕方が違うことに気が付き、状況にあった言葉遣いを選択することができる。(中1ア)	○	①協力して製作をする中で、「○○とってくれる？」など相手を気遣いながら自分の要求を伝えることができた。
	②クラスメイトの話を聞き、話の内容をだいたい理解し、自分の意見を広げたり深めたりすることができる。(中1イ)	○	②話し合いの中で、友達の意見を聞き、製作の際に自分の製品に色や補強材などを取り入れることができた。

		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	○	③友達の意見に反応を返すことを楽しんだり、友達の生産の改善点などを「このテープ使ったらいいんじゃない？」などと伝えたりすることができた。
	職業・家庭科	①みんなのために役立つ製品の製作を通して、働くことの喜びや達成感を感じることができる。(中1ア)	○	①依頼に応じて製作を行い、お届けする中で楽しみながら活動に取り組むことができた。
		②クラスで協力して製品を製作し、よりよい製品を作ろうと試行錯誤することができる。(中1イ)	○	②友達の意見なども取り入れながら製作に取り組み、チェックシートを活用しながら製品の改良を行うことができた。
		③よりよい製品づくりのために主体性をもって製作に取り組むことができる。(中1ウ)	○	③自分から改良のアイデアをもち、友達に教えたりしながら意欲的に活動に参加することができた。
B	国語科	①クラスメイトや先生など相手に応じた伝え方をすることができる。(中1ア)	○	①製作活動の中で、自分のアイデアを具体物を使いながら相手に伝えようとすることができた。
		②製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見をまとめたりすることで、グループ全体でより良い製品を作り出そうとすることができる。(中1イ)	△	②自分のアイデアをクラスの中で発表し、友達の意見もよく聞いたが、質問をするなどして意見を深めたり、考えをまとめたりしようとするのは難しかった。
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	○	③自分のアイデアを製作活動の中で友達に伝えようと積極的に意見交換をしようとしていた。
	職業・家庭科	①クラスメイトと協力して製品を製作したり、自分が作ったものを受け取ってもらったりする経験を通して働くことのよさを感じることができる。(中1ア)	○	①依頼に応じて製作を行い、自分なりの工夫を考えながら、人の役に立とうとすることができた。
		②クラスで協力して製品を製作し、よりよい製品を作ろうと試行錯誤することができる。(中1イ)	○	②友達の意見なども取り入れながら製作に取り組み、友達に自分の気づきなどもアドバイスしながら製作活動に取り組むことができた。
		③よりよい製品づくりのために責任感をもって製作に取り組むことができる。(中1ウ)	○	③自分のイメージを形にするために友達の意見を取り入れ、材料を工夫しながら意欲的に取り組むことができた。

C	国語科	①状況にあった言葉遣いがあることに気が付き、実践することができる。(中1ア)	○	①話し合い活動の中で質問をするときには、教師のロールプレイを真似しながら丁寧な言葉遣いで質問をすることができた。
		②相手の意図を考えながら、クラスメイトの発表を聞き、自分の意見や感想を述べることができる。(中1イ)	○	②相手の意図が分からないときには質問をすることができた。
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(中1ウ)	○	③いいねカードなどを使いながら積極的に話し合い活動に参加することができた。
	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んだり、相手からの謝意に喜んだりすることができる。(小3ア)	○	①色などに気を付けながらクラスメイトと協力して製作活動に取り組み、製品を届けるさいには相手からの謝意を受け喜んでいた。
		②クラスで協力して製品を製作したり、よりよい製品を作ろうと試行錯誤したりすることができる。(小3イ)	○	②製品を楽しんで製作することができた。相手の好きな色などを選びながら製作に取り組むことができた。
		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)	○	③意欲的に活動に取り組み、楽しみながら参加することができた。
D	国語科	①自分なりの方法で発表したり、相手に意見を伝えようとしたりすることができる。(小3ア)	○	①自分で発表の手段を選択しながら、掃除道具の柄を長くしたことや色を工夫したことを発表することができた。
		②自分なりの方法で製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見を受け止めたりすることができる。(小3イ)	○	②製品を見せながらアイディアをクラスで共有したり、友達の製品を見て真似して同じテープを使ってみたりすることができた。
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(小3ウ)	○	③友達と一緒に製作に取り組むことはできたが、相手の意見を受け止めて反応を伝えることは恥ずかしさなどもあり難しい様子があった。
	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んだり、相手からの謝意に喜んだりすることができる。(小3ア)	○	①友達と道具を貸し借りしながら製作に取り組むことができた。また、製品をお届けすることを楽しむ姿があった。
		②クラスで協力して製品を製作したり、材料や作り方を工夫して製作したりすることができる。(小3イ)	○	②友達のアイデアを聞いて、強いテープを補強にしようとする様子があったり、友達に教えようとする場面があった。

		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)	○	③自分の工夫を実現しようと率先して製作に取り組むことができた。
E	国語科	①自分なりの方法で発表したり、相手に意見を伝えようとしたりすることができる。(小3ア)	○	①チェックシートや電子黒板、VOCAを使いながら発表することができた。
		②自分なりの方法で製品の工夫について発表したり、クラスメイトの意見を受け止めたりすることができる。(小3イ)	○	②チェックシートを使い自分が工夫したことや好きなところを教師と確認し、VOCAを準備して発表に取り組むことができた。いいねカードを使いながら相手の発表に応えることができた。
		③積極的にクラスメイトとかかわり、話し合ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。(小3ウ)	○	③発表に楽しみながら参加し、自分なりの方法でたくさん反応を返そうとすることができていた。
	生活科	①クラスメイトと一緒に製品の製作に進んで取り組んだり、相手からの謝意に喜んだりすることができる。(小3ア)	○	①意欲的に製作に取り組み、クラスメイトと一緒に作業することを楽しむことができた。また、掃除用具を届けるときに、愛他の反応を楽しむことができた。
		③クラスで協力して製品を製作し、材料や作り方を工夫して製作することができる。(小3イ)	○	②クラスメイトに自分では難しいところを頼んだり、自分なりにシールを選んだりしながら製作に取り組むことができた。
		③進んで製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小3ウ)	○	③意欲的に活動に参加することができた。
F	国語科	①自分の思いを単語や動作で教師に伝えることができる。(小2ア)	○	①材料を選ぶときに「こっち」などの言葉で自分の好きなものを伝えることができた。
		②クラスメイトの話す様子に関心を持ち、話を聞こうとすることができる。(小2イ)	○	②いいねカードを教師と一緒に選びながら発表に参加することができた。
		③積極的にクラスメイトとかかわり、教師に、自分の意見を伝えることができる。(小2ウ)	△	③話し合いへの参加や教師に意思を伝えることができたが、製作の中でクラスメイトに積極的にかかわろうとする様子は見られなかった。
	生活科	①教師と一緒に製品の製作に進んで取り組むことができる。(小2ア)	○	①毛糸の感触などを楽しみながら活動に参加することができた。

	②材料等を自分で選んで、クラスメイトと一緒に製作に取り組むことができる。 (小２イ)	△	②材料を好きな色や見た目などで選びながら活動に参加することもできた。
	③楽しく製作に取り組んだり、相手に製品を届けたりすることができる。(小２ウ)	○	③製作を楽しみながら参加することができた。